

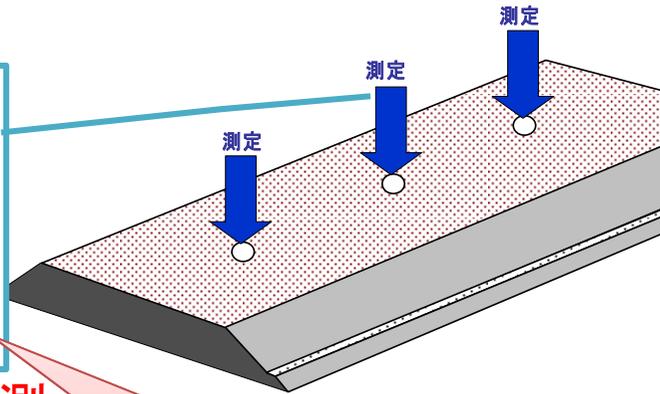
# 従来施工から情報化施工へ

## 盛土の締固め回数管理

### 従来施工



施工毎 品質計測  
(1000m<sup>3</sup>毎に1点)



- 計測結果は記録紙  
施工土量に比例し  
整理に労力を要する

### 帳票作成

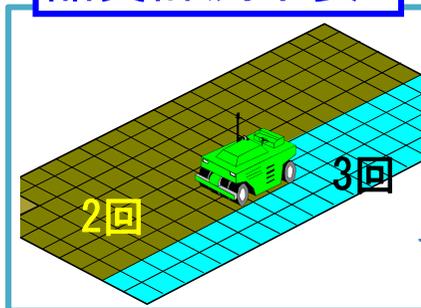
- 盛土施工管理データ
- 現場密度試験結果一覧  
・・・等

書類を多数作成

- 計測結果を転記
- 品質管理帳票作成  
施工土量に比例して増加

### 情報化施工

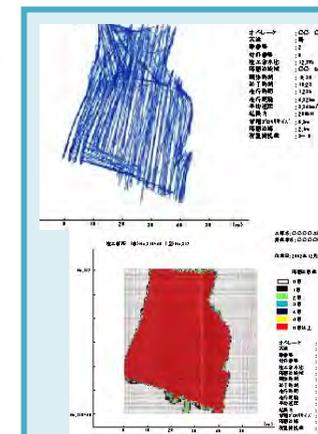
品質計測不要



締固め回数を自動記録



結果整理は自動



### 帳票作成

- 走行軌跡図
- 回数分布図  
・・・等

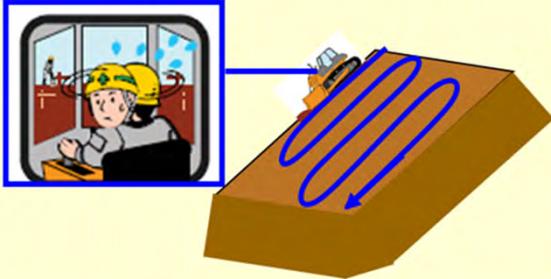
書類は自動作成

施工土量に関わらず一定

# 従来施工から情報化施工へ 盛土の締固め回数管理

## 従来施工

※転圧回数・転圧箇所はオペレータ等による確認



転圧回数不足の可能性

オペレータの経験と勘頼りの転圧

## 従来施工

締固めが所定の回数まで達していない箇所がある。

約1,500m<sup>2</sup>



## 情報化施工



運転席モニターにて規定転圧回数を確認

転圧した箇所が視覚的にリアルタイムで把握できる

## 情報化施工

施工と同時に確認できるので、確実に全面を所定の回数まで締固めできる。

約1,500m<sup>2</sup>



施工品質の確保